

J・Hair News

Vol.44 2020. Winter



写真：富士山 信仰の対象と芸術の源泉 / 忍野八海(世界文化遺産)

- P2 理事長新年あいさつ
- P3~5 J・Hair's EYE
- P6~7 ガイドライン遵守調査結果
- P8 事務局だより

日本毛髪工業協同組合

平成31年12月25日発行
J・Hair News(第44号) 日本毛髪工業協同組合 URL http://nmk.or.jp
編集・発行 日本毛髪工業協同組合事務局 東京都渋谷区代々木2-9-9 Tel.03-5304-5130 Fax.03-5371-9345 印刷・製本 イエヌミ印刷(株)

J・Hair News

事務局だより

12月	10月	9月	7月	6月
12日 定例理事会開催 第二号議案 2019年度中間予算の件	8日 「ヘアランスケア支援委」について 講演会開催 講師 名古屋第二赤十字病院看護師長 室田 かおる氏	19日 定例理事会開催 第二号議案 2019年度年間予算見込みの件 その他報告事項 五十嵐剛祥氏藍綬褒章受章を祝う会開催	18日 運営委員会開催(主な議題) 1、2019年度年間見込み報告の件 2、業況調査の件 3、東京都消費生活センター訪問の件 4、新入特別会員の件 その他事項	24日 日本ケアメイク協会の視覚障害者 実務講習会参加 17日 名古屋市医療用ウィッグの補助制度の 説明会に参加

行事/理事会委員会等の主な活動状況
(2019年下期)

新規加入特別会員の紹介

株式会社レジーナ 代表取締役 高木治
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-10-2
日本毛髪工業協同組合に入会をさせて頂き
ありがとうございます。
当社の創業は、秋田工場でのウィッグとヘアピースの製造・販売から始まっています。長年の経験で培った確かな技術と時
代性を取り入れた高い品質で、これからも女性の思いにこた
えるヘアアイテムを提供させていただきよう努めてまいり
ます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



「第2回がんアライ宣言・アワード」にて受賞!

「がん対策問題に取り組む民間プロジェクト」が「がんアライ部」が主催する、第2回がんアライ宣言アワードにて株式会社アデランスがゴールド賞、株式会社アートネイチャーと株式会社スヴェンソンがシルバー賞をそれぞれ受賞いたしました。

がんアライアワードは、がん罹患者が抱える悩みを理解しサポートする「アライアリティ」であること、がんとともに働き続けられる企業であることを宣言する企業がエントリーし、同アワードの選考委員による選考会にて具体的な取り組みやサポート制度などを含めた審査が行われています。受賞各社のがん罹患の支援施策、取り組み等を高く評価をされた結果、今回の受賞となりました。

原稿募集

J・Hair's worksへの原稿を募集しています。掲載文には薄謝(クオカード3000円相当)を差します。

- 募集テーマ1: お客様からいただいた嬉しいご声援
「あのお客様のあの言葉があったから今の自分がある」と思える経験、心がじわっと温かくなるエピソード(ご披露ください)。文字数は800字以内。
- 募集テーマ2: 当地ネタ
文字数は400~600字程度。文章を補正する写真やイラストなど掲載情報があれば歓迎いたします。
- テーマ1・2ともペンネームでも差し支えありませんが、会社名・所属は明記してください。

組合員各社

- (株)アートネイチャー (株)アデランス
- コスモファニー(株) シャポード(株)
- (株)スヴェンソン (株)東京義髪整形(株)ハイネット
- (株)バイオテック フェザー(株) (株)プロピア
- (株)ベラミカ (株)ユキ

特別会員

- (株)アートフォーラム (株)アールコーポレーション
- (株)an 安藤(株) (株)インター・サクセス
- (株)HP (株)クラッセ (株)クロスオーバー
- (株)KeFamily (株)Sunny Days 鈴木
- (株)スマートリンク (株)スリル 青和通商(株)
- (株)タリア 青島杉山商貿有限公司
- (株)Berry & Rose (株)美彩 (株)プリシラ
- (株)美希 (株)ミリオンバンナー (株)ライツフォル
- (株)リネアストリア (株)レジーナ (株)ロハス
- (株)ワールドワイドウィッグヘアース

賛助会員

- (株)アイプラネット (株)アサツーディ・ケイ
- (株)アプラス (株)アマナ イエヌミ印刷(株)
- (株)大広製作所 (株)オリエントコーポレーション
- (株)カワキタ 共同印刷(株) (株)コーテック
- (株)弘研 (株)コンパス (株)サンエーデー
- (株)ジェイアンドユー JBCC(株)
- (株)ジャックス (株)新和商事 (株)セディナ
- (株)象・ファクトリー (株)天広 タカラベルモント(株)
- タカラスペースデザイン(株) (株)田村治照堂
- (株)電通 (株)東洋新薬
- 日本フイリン(株) 日本ユニポリマー(株)
- 吉忠マネキ(株)

(五十音順)

根本理事長新年の挨拶(寄稿)

あけまして
おめでとーございませう。

日本毛髪工業協同組合

理事長 根本 信男



2020年また、令和となり初めての新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より当組合の事業運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は平成の時代から令和へ天皇陛下の譲位も滞りなくなされ、新しい時代となった記念すべき年でした。また、国内経済は、長期にわたる緩やかな経済成長の中で、有効求人倍率も過去最高を更新するなど好調であったものの、10月に行われた消費税10%へのアップに伴う、駆け込み需要やその反動減の影響や、アメリカと中国の貿易問題やイラクをはじめとする中東問題や日韓問題など懸念される事象もあり、予断を許さない状況が続いております。その中で、昨年日本で初めて開催され

たラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍など日本中に活力を与え、感動し、大いに盛り上がった年でもありました。

このような中、消費者の安心・安全を満たす商品サービスを提供することが毛髪業界の健全な発展、成長につながるかと考え、改めて邁進していく所存です。

その為には毛髪に関する役務、商品提供の基準を定めた「取引に関するガイドライン」について、消費者との契約適正化による透明性を確保するため、引き続きガイドラインの遵守調査を徹底し、組合内の健全化を図ると共に、組合外のアウトサイダーへの適正な販売に向けて改善を求めていくなどの活動を実施してまいります。

また、業界初めてのJIS(日本産業規格)規格であるM・Wigは、医療用ウィッグの安心・安全につながる事が世の中に浸透しつつあり、全国の自治体において医療用ウィッグの補助金交付を実施するところがさらに広がってきております。今後さらに患者様の経済的負担を軽減する健康保険適応、医療控除の対象になるための働きかけを関係各所と連携して実現できるよう、引き続き取り組んでまいります。

当組合の活動意義を広くご理解いただくため、組合員、特別会員、そして管轄省庁の皆様のご支援お引き立てを賜りますとともに、是非多様なご意見をお寄せいただき、業界発展を活性化させてまいりたいと思っております。

本年も皆様のご健勝ならびにご多幸を心よりお祈り申し上げます。

J・Hair's EYE



がんが退職にならない職場づくり3つのポイントとは
アデランス
がん治療と仕事の両立に取り組む
(第4回)

1968年の創業以来、トータルヘアソリューション(総合毛髪関連)事業として業界を牽引してきた株式会社アデランス。2018年の創業50周年を機に、毛髪・美容・健康のウェルネス産業として新たなステージへと踏み出しました。



同社では、社員のがんの治療と仕事の両立に積極的に取り組み、2019年10月29日には、がんと共に生きている社会の実現を目指して、さまざまな活動を行っている団体「がんアライ部」開催の第2回目となる「がんアライアワード2019」で「ゴールド企業に輝き、社外から高い評価も受けています。アデランスとがんをキーワードするとさまざまなお話が出てきますが、全国32の病院に開設している院内ヘアサロンの運営や医療用ウィッグの開発から提供、放射線・投薬治療による脱毛や円形脱毛症などをはじめとする様々な原因で脱毛したお子さまたちにウィッグをプレゼントするCSR活動「愛のチャリティ」。クリスマスに社員がサントヤトナカイに扮して病院を回り入院中のお子さまにプレゼントを手渡す「サンタスマイル活動」、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」のサポートなど、事業や社会貢献活動で長年がんに対する積極的なサポートを行ってきました。

その枠組みを社員へと広げ、がんになっても働ける会社となっていくために、どんな改革を行ってきたのか、その経緯と具体的な取り組みを紹介します。



がんサバイバーに聞く



病気への理解度が高く、
がん患者に寄り添う寛容さ

アデランス 医療事業推進部
東北オフィス 箭内 明美

私が子宮がんになったのは2010年10月でした。リンパへの転移もあり、なかなか重いものですぐに手術、長期入院となり、当時勤めていた前職の会社はやむなく退社してしまいました。

アデランスに入社したのは、普通の生活が送れるように回復した2012年11月ごろです。働いてみて実感したのは、がんやがん患者への理解のある職場であるということです。定期検査や副作用で具合が悪い時など、さまざまな事態が起こりえることを想定していて、相談しやすく、働き方についても寛容です。また、病院での勉強会やがんに関する学会へも快く送り出してくれます。さらに、私は個人としてがん患者さまやそのご家族をサポートする「特定非営利活動法人 がんピアネットふくしま」で活動しているのですが、こうした社会貢献活動にも多大な理解を示してくれています。

こうした環境に感謝しながら、私は今後も、お仕事や患者さまを支援する活動を続けていきたいと思っています。患者さまの不安や苦しみ、悩みは解決できないものですが、話を聞くことで解消することができます。少しでも気持ちが軽くなってもらえるように、公私ともに活動を続けていきたいと思っています。



アデランスの
がんアライ宣言！

1. 私たちは、がんにも罹患しても働き続けられる社会であることを望んでいます。
2. 私たちは、がんに対する理解を深め、がんにも罹患した社員の気持ちを大切にお互いを支援し協力する職場をつくります。

さらには社内外の啓蒙活動として、女性がんサバイバーのコミュニティを運営している一般社団法人ピアリングに協賛し、冊子「がん向き合う職場のために」女性がん経験者200人の声」を全社員に配布しました。この狙い

ポイント3
さらなる啓蒙活動で予防の動き
罹患する前に、健康であれ

- がんにも罹患した際、治療を支援する制度や復職時に働きやすい制度
- ・コアタイムなしのフレックスタイム制・短時間勤務・休職制度
 - ・最大720日 積立有給休暇 上限5日 半日単位の有給休暇
 - ・在宅勤務制度・時間差出勤 15分おき24パターン
 - ・テレワークの導入2020年度より実施予定)
 - ・アピアランスとして社員へのオーダーメイド・ウィッグの無償提供
 - ・禁煙チャレンジなどサポート制度を実施

人事部長 八木 専吉

最前線企業に学ぶ

人事部インタビュアー

がんが退職理由にならない
職場づくり
3つのポイントとは



ポイント1
各社員のがんへの深い理解が
罹患患者へのサポートを生む

2018年に創立50周年を迎えたことをきっかけに、これまでの総合毛髪企業としての領域に美容と健康を加え、美と健康をも司るウエルネスカンパニーとして新たな歩みを開始しました。こうした考えに紐づく健康経営、働き方改革のテーマの1つとして見えてきたのが、病気になることも安心して働きやすい企業への転換です。貴重な人材が定年を超えても活躍できるように、長く安心して働ける職場づくりをしたいと考えてきました。社内では、がん罹患患者への心理状況を理解するために、医療接遇講習を実施し、多くの社員が受講しています。

そもそも弊社には、病気や治療による脱毛をウィッグでケアする医療事業推進部や、病気やケガなどの理由でウィッグを必要とするお子さまに笑顔を取り戻していただけるようウィッグをプレゼントする「愛のチャリティ」というCSR活動を1978年から実施してきていることから、がんという病気への理解や関心がありました。だからこそ、がんの罹患患者への働き方をサポートしていくことは改革しやすい環境だったかもしれません。

ポイント2
復職の形を模索する
社内規定・就業規則へ変更

具体的なアクションを加速させるきっかけは、2019年3月17日にがんと共に生きている職場・社会を目指す、がんアライ部に参加して、がんアライ宣言をしたことです。がんになっても治療をしながら安心して働ける職場づくりを目指すことを宣言し、利用しやすい制度

やサポート体制等を拡充させてきました。そして社内規定・就業規則を変更し、会社は何を支援するか具体的に明文化しました。治療前、治療中、復職までを支援し、復職の際には、どういった環境なら復帰が可能なのか、主治医と産業医、本人の意見を尊重し、相談して復帰の形を模索していきます。



会社が心の1助となり、がんになっても安心して働きやすい職場であるために制定した内容の一例

「がん罹患患者就業支援に関する規程」の制定

治療休職からの復職もしくは就労条件の変更を希望する従業員は、所定申請書を提出することで、各種就業支援を受けることができる。

- ・治療休職制度：通常の休職制度に上乗せした休職制度 180日間
- ・再雇用特別措置：がん治療によりやむを得ず退職した従業員が復職できる状態になった際、募集採用に当たって対象者を優先する措置(登録制)
- ・積立有給休暇の取得限度日数の特例措置：通常の積立有給休暇の取得限度日数を超過して取得が可能
- ・就労支援プランの作成：主治医等の意見書、当該従業員からの要望、産業医の意見等を踏まえて就業支援プランを作成し、当該従業員へ交付する。
- ・フォローアップ：通常勤務に戻ってから、定期的に就業支援担当、所属長、産業医等が定期的に一定期間フォローアップの面談を実施する。

は、がん向き合いながら就労している仲間の気持ちに大切に、お互いを支援し協力し合える働きやすい環境について考えてもらうためです。また社内だけではなく、店舗やオフィス受付にも同様の冊子を設置するなど、弊社のお客様や取引先あらゆるステークホルダーに呼びかけを行っています。

こうした数々の取り組みによって醸成された、病気になっても働きやすい職場環境、相談できる雰囲気づくり、制度などが評価され、第2回「がんアライ宣言・アワード」ではゴールド企業として表彰いただきました。今後も、がん以外の病にも目を向けながら、美と健康を司る企業としてふさわしい企業風土改革を行っていきたく思います。そして社員が安心して働ける、環境や仕組みを広げてみたいと思います。

加盟店証

明示、掲示の95%強の高い掲示を維持しております。
店舗責任者の認識に感謝いたします。

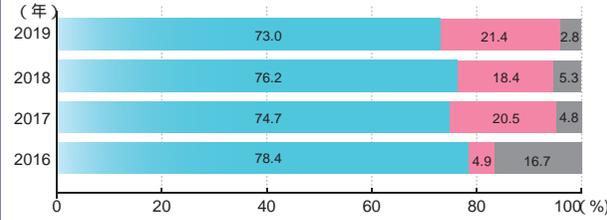
重要事項説明書

販売担当者交付率意識の高さが窺える。店舗責任者各年度平均を推移する。

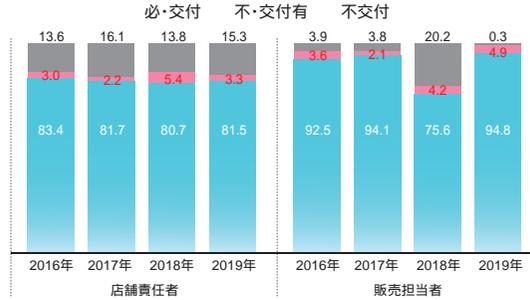
ガイドライン認知度

存在認知を含めて100%に近い認知となっております。
内容認知率も高めましょう。

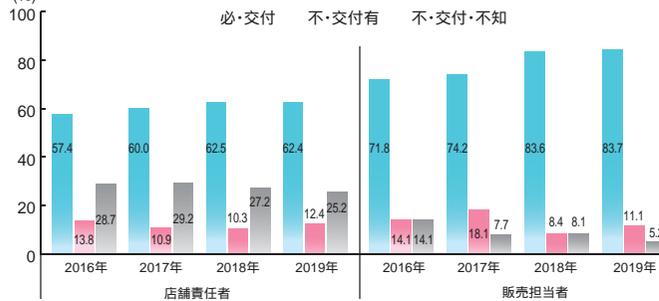
加盟店証掲示率



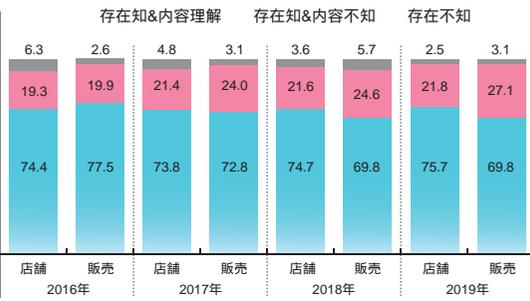
重要事項説明書交付率(店舗・販売)



リーフレットお渡し率

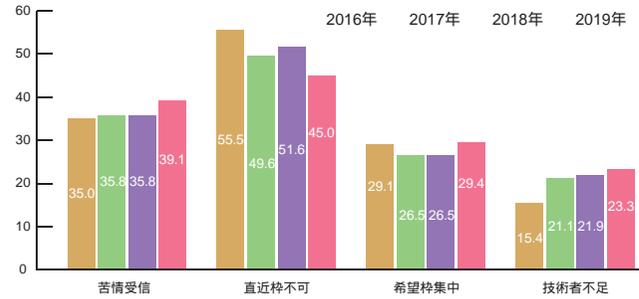


ガイドライン認知度(店舗・販売)



契約時のリーフレットお渡しは、お客様満足への架け橋になります。
全てのお客様へお渡し忘れが無いよう心がけましょう。

予約苦情受信～原因率

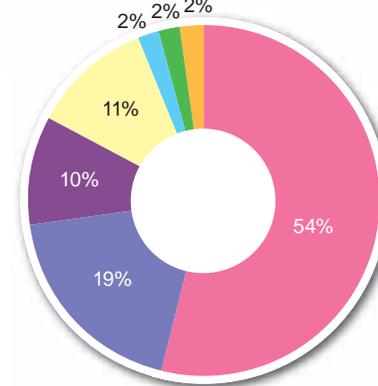


遵守調査初回回答数率

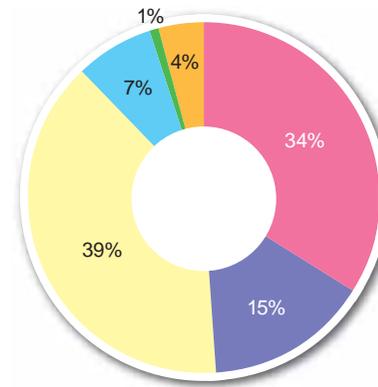


女性のお客様からお客様相談窓口へ、相談・問合せの入電件数が増加しております。
組合に入電する「大切な事業者のお客様の声」は、消費生活専門相談員がお聞きいたします。

アートネイチャー
東京義髪整形
プロヘア
アテランス
ユキ
バイオテック
スウェンソン



店舗責任者回答数率



販売担当者回答数率

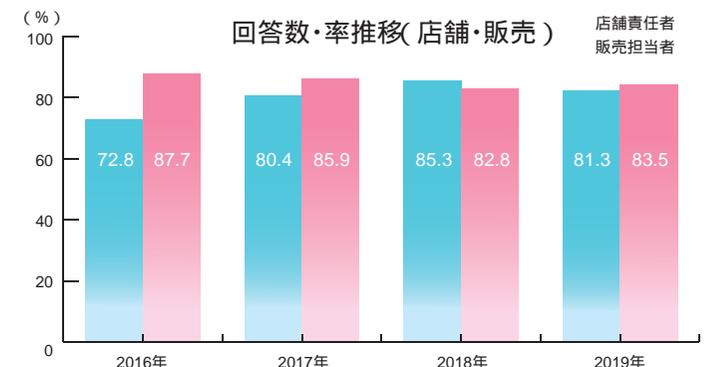
ガイドライン遵守調査は11回目となります。
本年度は10月21日、11月11日までの22日間に実施致しました。
2019年度回答数
店舗責任者=2019年度518名、昨年比64名減となります。販売担当者=2019年度288名、昨年比57名減となります。回答率はともに、各年度平均の約80%超推移となりました。2020年度遵守調査は、多くのみなさまから、回答をお願い致します。

2019年度取引ガイドライン
遵守調査を実施しました

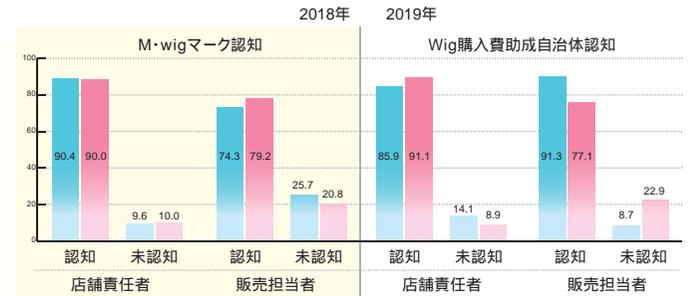
「Luis(日本産業規格)適合M・Wigマーク」及び医療用ウィッグ購入費助成地方自治体の認知度設問は2回目となります。認知度結果はM・Wigマーク店舗責任者高く、助成自治体も、店舗責任者高いみなさまの身近な人からお客様からまで、情報をお知らせしました。

本年度も店舗・販売共に初回回答率、昨年減も30%推移する働く社員の活発な動きとなり、現場の大きさが窺える。

平常業務でお忙しい中、
ご協力ありがとうございました！



M・Wigマーク・医療用Wig費用助成自治体認知度



実施期間 : 2019/10/21~11/11
対象 : 消費者と直接契約【販売】する組合員【事業者】

店舗 : 店舗責任者が店舗を総括して回答
販売担当者 : 各事業者が自主基準で指名した販売担当者